

第11回北勢線の魅力を探る

～竹林・古刹から世界一の踏切を通過して旧京橋駅へ～

開催日 2008年9月15日（月・祝）

参加者 117名

協力 加藤勝己さん、増田神社

上野御膳水～井坂山冷水庵～太夫の大楠～増田神社

上野御膳水は北側の丘陵から湧き出る水を導いたもので、笕からこんこんと流れ出ている。



上野御膳水

江戸時代には藩主の飲用水はここから毎日運んでいたと言われる。冬は暖かく、夏は冷たい。竹林の道を登ると井坂山冷水庵へ出る。この寺では桑名歴史案内人の会の元会長加藤勝己氏から寺の歴史を聞く。開基は不詳だが曹洞宗で、本尊は虚空蔵菩薩像である。現在の本堂は棟札によれば文化13（1816）年4月に建てられたもので、鬼瓦には文化9（1812）年11月の銘がある。

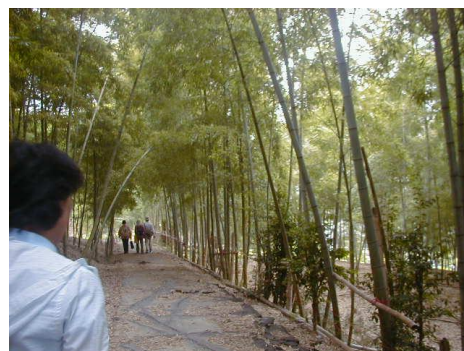
境内に阿波国出身で桑名藩校進脩館の副教をつとめた佐父理希亮（1774～1820）の墓で、亀に乗った

亀跌がある。その傍らに妻柔の墓もある

太夫の大楠は幹廻り約10.8m、樹高が約27mあり、桑名市指定天然記念物になっている。近くの増田神社は伊勢大神楽で有名な神社である。この神社の由緒は、もとはこの丘陵の下方にあった立坂神社の末社であったが、明治末の神社合併の時に分離し、代表者の山本源太夫家敷地に祀られた。当社に伝わる伊勢大神楽（国指定重要民俗文化財）は、毎年12月24日に増田神社で奉納し、その後元旦より各地各家を巡歴して清め祓いを行い、神楽を奏している。

西桑名神社～高塚山古墳～聖衆寺～照源寺

西桑名神社は江戸時代には八幡宮であったが、昭和初期に西桑名神社と改称されたらしい。笹山溜池を横に見て、さらに進むと竹林に入る。竹林を抜けると急に視界が開ける。木曾三川が眼下に広がり、伊勢大橋や長良川河口堰も手に取るように見える。晴れていれば名古屋の市街も見渡せるのだが。ここから少し北に入ったところに高塚山古墳がある。この古墳は全長約56mで桑員地区最大の前方後円墳で、平成16年（2004）



西方の竹林

の調査で盾型や朝顔型、円筒埴輪などが発見されている。築造時期は埴輪の様式などから

4世紀後半と推定されるようだ。墳頂には88.6mの三角点がある。

竹林の中の快適な小径を通り、聖衆寺に到着する。真言宗の寺で、鎌倉時代初期の建仁4年(1204)の創建で、当時は43の僧坊を持つ巨刹であったと言われるが、織田信長の北勢侵攻で全て焼かれてしまった。江戸時代中期に岡本信行という僧が再興した。信行作の瓦焼きの阿弥陀如来座像が祀られ、「土仏さん」として親しまれている。

照源寺は、第3代桑名藩主(久松)松平定勝が亡くなった寛永元年(1624)にその子定行によって創建された。以後、(久松)松平家の菩提寺として藩主の墓があり、「松平定綱及び一統之墓所」として昭和12年(1937)に三重県の史跡に指定されている。創建当時の山門は、現在解体修復中である。また、境内には市指定の天然記念物の夫婦松や、金竜桜、松平定信の歌碑、平岡潤詩碑、佐藤義一郎碑などが境内に建てられている。戦災にあわずに落ち着いた雰囲気を漂わせている。

三崎踏切～桑名京橋駅跡～本統寺

桑名駅構内を東西に横切る踏切は通称三崎踏切である。人と二輪車のみが通行できる。正式踏切名と軌道幅は次の通りである。一番西側の近鉄名古屋線は益生第4号踏切とよばれ、標準軌の1435mm。真ん中のJR関西線は構内踏切とよばれ、狭軌の1067mm。一番東側の三岐鉄道北勢線は西桑名第2号踏切とよばれ、特殊狭軌の762mmである。軌道幅が異なる3線が並行しているのは、世界でもここだけであろう。



三崎踏切

三崎踏切から北の約200mに三岐鉄道北勢線西桑名駅がある。元来は大正4年(1915)北勢鉄道の大山田駅(後の西桑名駅)として開業したが、桑名駅前再開発により、この西桑名駅の駅舎は昭和52年(1977)に移動してできた。

桑名町駅(後の桑名京橋駅)までの0.7kmの路線があったが、昭和36年(1961)西桑名駅～桑名京橋駅間の路線は廃止となった。

廃線の痕跡を今回はたどってみる。桑名信用金庫のビルの外壁から三重交通の駐車場の敷地境界が斜めの路線跡として残っている。国道1号線もやや斜めに渡り、その先の道路が廃線跡である。桑名京橋駅の駅前広場跡は個人のお屋敷となっており、駅舎などは全く痕跡を留めていない。

桑名別院本統寺というのが正式名称だが、桑名の人には「ごぼさん」と呼んでいる。真宗大谷派の別院で明治天皇も泊まれた由緒ある寺である。昭和20年(1945)の戦災で全焼し、現在の本堂は昭和25年に再建されたもの。平成13年(2001)屋根瓦の葺き替えや奥書院の新築などが行なわれた。

境内には大きな親鸞聖人銅像(桑名出身の広瀬精一が昭和13年に寄贈)や松尾芭蕉の句碑もある。ここで解散となり、弁当を持参の方は境内のベンチなどで食べ、その他の方は散り散りとなった。